

令和2年度 第2回日本遺産推進協議会総会

令和3年1月14日（木）16:00～17:00 議会棟4階全員協議会室

出席人数 22名

※文中、特にことわりのない限り、本会の名称は「協議会」と表記する。

開会

【事務局】

- ・緊急事態宣言下での会議開催となり、感染予防対策として3密を避けるため、会議中の換気と併せて、会議時間も1時間以内を予定。
- ・総会閉会后に、昨年末に放送したBSテレビ番組の録画を放映する。未視聴の方は是非ご視聴いただきたい。

名誉会長挨拶

- ・新型コロナウイルスの感染拡大が続き、八王子においても厳しい状況が続く。引き続き市民の皆様へ協力いただきながら難局を乗り越えたい。
- ・このコロナ禍にあって、昨年はほとんどのイベントが中止となった。年明けも出初式、成人式をやむなく中止した。成人式については動画配信による開催となったが、その際多くの方々から新成人にお祝いのメッセージを頂戴し、佐藤貫首からも動画でお祝いの言葉をいただいた。
- ・日本遺産の認定から半年が経過したが、推進協議会の皆様には、様々な普及啓発の取り組みにご協力いただき、感謝したい。
- ・昨年末には、BS-TBSのテレビ番組で放映があり、多くの方々に八王子の伝統、歴史文化を発信できたと思う。
- ・文化庁からは、「日本遺産事業の見直し」についての発表があった。認定後6年を目途に再評価を行い、取り組みが不十分な地域は、認定を取り消すこともできるというもの。
- ・八王子はスタートしたばかりだが、これから日本遺産を活かした様々な活動を繰り広げながら八王子の地域活性化、観光振興に取り組んでいく。引き続き、皆様のご協力をお願いする。

【事務局】

- ・会議資料確認
- ・名簿更新
- ・初出席の委員の紹介

監事挨拶

- ・八王子市町会自治会連合会の会長をしている。町会、自治会でもこれから八王子の日本遺産推進を頑張っていきたい。

委員挨拶

- ・八王子青年会議所の理事長に就任した。
- ・我々青年会議所は日本遺産について、昨年に引き続き森林パトロール隊とともに取り組んでいく。

これ以降会長による議事進行

【会長】

- ・文科大臣の年頭の挨拶で日本遺産については見直しがあり、積極性がなれば取り消しもあると言っていた。
- ・この会議では市と協議会が一体となって活発な意見交換をし、事業を進めていかなければならない。短い時間ではあるが、いろいろな意見をいただきたい。
- ・議事に入る前に、昨年12月に高尾山薬王院の第三十三世貫首に佐藤委員がご就任になった。この場で一言ご挨拶をお願いしたい。

【委員】

- ・高尾山は今や世界中に名の知れる場所となっているが、本来あの場所は地域の方々を中心とした、八王子の人々が大事にこよなく親しみ愛した場所であり、環境整備をしてきた場所である。
- ・まずもって八王子の高尾山だということを意識して世の中にその魅力を呼び掛けていきたい。
- ・ご挨拶代わりに日本遺産の音を聞いていただきたい。(ほら貝吹奏)
- ・この音は1300年高尾山で響いている音。この音も日本遺産に含まれている。

【会長】

- ・貫首は就任後も本協議会の委員として活動していただけるという事で、大きなお力添えをいただきたい。

議事

報告事項 (1) 令和2年度 日本遺産の普及・啓発状況について

【事務局】

- ・感染症対策で会議時間短縮のため資料を事前に送付しているため、簡略に説明する。
- ・認定後約半年間、構成団体の協力を得て様々な周知活動、プロモーションを行ってきた。
- ・市の様々な所管では市内各所でのパネル展、ポスター掲示等、市民に知ってもらうための取組を行った。
- ・協議会の事業として、今治での日本遺産フェスティバル参加等を行った。
- ・構成団体ではキャンペーン等自発的な取組を行った。
- ・10月から公式 SNS による情報発信を始めた。
- ・織物工業組合の協力で、「桑都物語」のユニフォームとなるような羽織を作製した。色は桑茶色でこれをイメージカラーにしたい。コロナ禍で機会が少ないが、イベント等で積極的に活用したい。

報告事項 (2) 令和2年度 日本遺産推進事業の進捗状況について

【事務局】

- ・市の各所管での取組を紹介する。
- ・観光課では12月頃から滝山城築城500年という事で滝山城築城500年記念事業がはじまった。
- ・学園都市文化課では八王子車人形と説経浄瑠璃、八王子芸妓の映像作品を制作。30分の内容でj:comで放映予定。ぜひご視聴いただきたい。後日、市の公式YouTubeでも公開する。
- ・事業実施について、国の補助を活用した事業の5つの柱、人材育成事業、普及啓発事業、調査研究事業、活用整備事業、情報コンテンツ作成事業の中で概ね15の事業を進めており、13の事業についてはすでに着手している。それぞれ成果が出るのが3月あたり。それぞれ完了したところで報告したい。

【会長】

- ・日本遺産の認定後約6か月。まずは市民への周知が重要と考え、構成団体の皆様にも積極的に、主体的に活動していただいた。お礼を申し上げる
- ・推進事業については補助金の交付決定が9月、市の補正予算の成立が9月下旬だったという事で、成果として表れている事業は限られている。
- ・年末にはBS-TBSの番組で本市の魅力を全国に発信できた。

質疑

無し

報告事項（3）本協議会における部会の設置状況について

【事務局】

- ・第1回の総会后、文化・教育部会、観光部会、産業部会の3部会を設置。12月にそれぞれ部会を催した。
- ・文化・教育部会では、将来的な目標・ビジョンを関係者が共有し、大学と連携しながら取り組むこと、ストーリーの核でもある高尾山と桑都文化のつながりを多くの方に伝えていくことなどの意見がでた。
- ・観光部会では、高尾山の来山者に八王子城跡や滝山城跡など他の構成文化財を知ってほしい、SNSの活用や構成文化財を巡るツアーなどが有効ではないか、などの意見がでた。
- ・産業部会では、MICEの視点でも「体験」が重要なキーワード、体験可能なコンテンツや環境の整備、様々な業種の事業者との関わりが有効、などのご意見があった。

【会長】

- ・事務局と各部会の参加者は、部会の開催のほか、これまで適宜相互に連携しながら取組を進めていることを補足する。

質疑

なし。

報告事項（4）日本遺産連盟 令和2年度総会報告について

【事務局】

- ・本市も加盟している日本遺産連盟の総会が、昨年10月10日に愛媛県今治市で「日本遺産フェスティバル」にあわせて開催された。
- ・協議会会長の代理で事務局長が出席した。決議事項は予算決算及び事業報告。事業計画等は資料のとおり。
- ・日本遺産連盟から提出した国への要望書を添付しているので参照してほしい。

質疑

なし

協議事項（1）令和3年度事業計画について

【事務局】

- ・市の令和 3 年度の予算は現在編成中で、ここに示した予算規模の数字は日本遺産推進事業上の計画の数字。
- ・国の補助金を活用した事業という事で、人材育成、普及啓発、調査研究、活用整備、情報コンテンツ作成の 5 本の柱にそって本年度の事業の進捗と連携した事業を計画。
- ・日本遺産申請時の内容から大きく変更した場合、補助金の交付が見込めないが、国の補助規定、新型コロナウイルス感染拡大防止等を考慮して、事業の総額については変わらないものの、個々の事業の予算枠について若干変更した。
- ・活用整備事業について、国の補助規定により大規模な看板等は補助対象外となることから、「情報コンテンツ作成事業」に予算額を振り分けている。
- ・普及・啓発事業においては、コロナの影響も見据え、大規模なシンポジウム形式ではなく、小規模なイベントやワークショップなど、新たな日常を踏まえた内容で実施していきたい。
- ・補助事業の具体的な予算額の積算は、今後の作業になるで、本日は 5 つの事業ごとの予算枠で示している。本年度の事業と合わせて協議してほしい。

【会長】

- ・今後、国への補助金の申請に伴い、具体的な事業を立案し、次回の総会で予算案として議案にしたい。
- ・事業計画自体は申請時に提出しており、その内容を踏まえて国から認定されているため、大きな事業の変更はできない。
- ・本市の日本遺産の事業推進のため、各構成団体・委員の主体的な提案やこんなことはできないのかといった質問もいただきたい。また、自らこうした事業をしたいという事があればこの場でご提案いただきたい。

質疑

【委員】

- ・国立市の事業だが、国立市にお住いの方を対象に、詩やエッセイを募集し、芸術小ホールで発表する「私と国立市」というイベントがあった。これによって市民が国立市というまちを見直すきっかけとなった、と聞いている。
- ・例えば八王子でも子どもからお年寄りまでを対象にして、「私と高尾山」とか、高尾山の思い出をつづった詩でもエッセイでも作文でも市民にお寄せいただき、それをいちょうホールや薬王院の一面をお借りして発表会を行う、といった事業を継続してやっていると市民の皆様にも日本遺産の認識が広まっているのでは。

【事務局】

- ・市民に関わってもらうことはとても有効。令和 3 年度の事業計画のなかで検討していきたい。
- ・参考に本年度の普及啓発事業「日本遺産企画展」を紹介する。本市ゆかりのアーティスト 10 名に、日本遺産の構成文化財をテーマにした彫刻や絵画等の作品制作を依頼している。3 月に高尾 599 ミュージアムで展示会を開き、八王子の日本遺産のシンボリックなものとして取り扱い、市民の目に触れる機会を設ける。

【副会長】

- ・日本遺産連盟の要望書にもある通り、日本遺産そのものの認知度が低い。
- ・日本遺産のストーリーだけで本当に市民は分かるのか、やはり日本遺産に認定されたからには何か形として現れるものがあつた方がよいのではないか。
- ・過日、観光コンベンション協会会長、町会自治会連合会会長、商工会議所会頭の名前で山車の格納についての要望を出した。八王子市には 19 台の山車があるが、文化遺産として残していかなければならない。そのために特別なご配慮をいただきたいとの内容。
- ・市民にも日本遺産になったから山車の格納施設もできたんだと理解してもらえないのではないか。
- ・29 の構成文化財を守っていかなければならない。市民が積極的に意識をもって参画できた方がよい。

【委員】

- ・山車の格納庫（会館）については 30 年前から提唱されてきた。
- ・日本遺産という大きなプロジェクトの中に組み込んでいただければ、より市民にアピールできるのではないか。いろいろな事業があるとは思いますが是非加えていただければと思う。

【会長】

- ・他に意見があれば随時事務局にお願いしたい。意見を参考にしながら具体的な事業を計画していく。

協議事項 (2) 八王子市郷土資料館仮展示場開館に伴う、オープニングイベントの共催について

【事務局】

- ・八王子市郷土資料館仮展示場（日本遺産センター）について、文化財課長より概要を説明

する。

【文化財課長】

- ・郷土資料館は開館から 54 年が経過し、南口集いの拠点整備事業の一環で医療刑務所跡地に移転予定。移転先の完成までの期間、館の展示部分を仮移転することとし、日本遺産をアピールする場にする。
- ・場所はサザンスカイタワー八王子の 3 階、床面積は郷土資料館の展示スペースの 6 割強となる。
- ・「桑都八王子の歴史と文化に出会える場所」をコンセプトに「郷土の歴史・文化を知るきっかけの場」と「本移転先への期待感を醸成する場」の 2 つをテーマにした展示となる。
- ・ほぼ四角い空間に「導入ゾーン」、「テーマ展示ゾーン」、「企画展示ゾーン」、「体験・交流ゾーン」を配置する。
- ・「導入ゾーン」では VR 等を活用した映像展示を行う。「テーマ展示ゾーン」ではおよそ 20 基の「ストーリー仕器」を配置、表側で興味を引く問いかけやイラスト、裏側に回ると詳しい解説が見られるといった展示を行う。
- ・「企画展示ゾーン」では日本遺産パネル展のような企画展示を行う。4 階の八王子市役所南口総合事務所の市民交流コーナーも合わせて活用すれば、現在の郷土資料館以上の規模の展示が可能。
- ・「体験・交流ゾーン」では車人形などの体験、郷土の歴史学習や情報交換ができるようにする。
- ・今月末に内装工事に入る。11 日の成人式中止に際して工事前という事もあり、場所の周知を兼ねてフォトスポットとして活用していただいた。
- ・2 月 15 日号の「広報はちおうじ」で開設時期、正式名称等を周知し、4 月中旬には内覧会、下旬に開館の予定。
- ・コロナ禍における屋内施設の開館となるため、オープニングイベント等にするのか、できる限りの工夫をしながら進めたい。

【事務局】

- ・オープニングイベントについて、現時点の案は、市と本協議会との共催事業とし、第 1 部は市主催による式典、第 2 部はオープニングイベントとして構成文化財である桑都文化に触れていただく機会としたい。
- ・開催日は 4 月 29 日の祝日、場所はサザンスカイタワー前の公開空地とその 2 階部分のちの木デッキを予定。構成文化財の PR、伝統芸能の実演として八王子車人形、木遣、八王子芸妓衆の舞などを考えている。構成団体にも協力いただき、物品の販売も行いたい。

- ・年度はじめの開館となり、次回の総会の開催日程によっては、令和3年度の事業承認に間に合わないおそれもあることから、本日、個別に協議させていただく。

【会長】

- ・本件は4月下旬の実施という事で、コロナの状況によっては延期、中止も想定される。
- ・委員の皆様からの意見をいただきたい

質疑

【委員】

- ・八王子青年会議所としては子どもたちへの普及活動を行っていきたいと考えている。
- ・資料にある展示イメージでは、文字が多く、難しい漢字も多く出てくる。漢字にルビを振っていただくなど、市民への認知度向上という事も考えて、子どもたちが身近に感じられるような形で検討していただきたい。
- ・わかりやすくしてもらえると森林パトロール隊の子どもたちと一緒に学ぶことができる。

【事務局】

- ・日本遺産ストーリーについてはパンフレット等もあるが、子どもたちに伝えることは大事だと考えている。
- ・学校教育部と連携して小学校3年生から理解できるような教材づくりをしている。文字だけでなく、写真や映像を用いて桑都物語を理解できるような教材作成を進めている。
- ・子ども向けの教材ができれば広く活用していきたい。
- ・ほかにも就学前の幼稚園、保育園の子どもたちを対象に紙芝居を作るという事も考えている。

【会長】

- ・本協議事項については本協議会の共催事業という事で準備していきたい。
- ・各団体、各委員の積極的な参加をお願いしたい。

その他

日本遺産事業の見直しについて

【事務局】

- ・昨年末、文化庁から事務連絡として発表があった今後の日本遺産の見直しについて、情報

提供。

- ・認定後6年間の取組み期間を経て、総括評価で一定の評価がなされる。A、B、C、認定取消しという評価と合わせて、今後新たな候補地を募り、取消し地域と候補地との入れ替えが行われる。
- ・6年後の総括評価後は3年ごとのローリングをかけていくといった内容。
- ・まだ文化庁の正式決定事項ではなく、日本遺産フォローアップ委員会の中間まとめではあるが、このまま決定されるのではないかと思われる。
- ・6年後の審査だが、1年1年の積み上げであるのでしっかり取り組んでいきたい。
- ・総括評価の基準についても現段階で示されている。今後の事業の取組にもこのような視点を考慮する必要がある。
- ・学校教育や東京都とも連携して八王子らしい取組を進めていきたい。
- ・協議会の中での様々な提案をいただきたい。

【会長】

- ・各構成団体、委員各位には、各組織・団体の中で日本遺産を活かした取組を推進していただけるよう、お願いしたい。
- ・八王子市民だけではなく都民、首都圏を巻き込んだ形で有名になって、たくさんの方においでいただきたい。
- ・いつでも忌憚のないご意見を事務局におよせいただきたい。
- ・これにて、令和2年度第2回日本遺産「桑都物語」推進協議会総会を閉会。
- ・閉会後は、事務局による番組放映があるので、ご覧になれる方は、お残りいただきたい。

閉会